

やってみよう、が未来をつくる
自分探求「Yes, And!」プロジェクト2023

STEP3 実施報告

NPO法人じぶん未来クラブ

社会人インタビューで得た成果をもとに、自分の挑戦（My Yes,And!）を決定する

■日程：2023年10月22日（日）

- 狙い：
- ① 自分やメンバーのインタビュー発表を通して、視野を広げる
 - ② STEP 2 までの自身の成長や変化を振り返り、挑戦するテーマを決定・発表する

■プログラム構成：

- 1) 社会人インタビュー発表
- 2) 振り返りワーク
- 3) My Yes, And!（挑戦するテーマ）の決定、発表

当日の様子

1) 社会人インタビュー発表



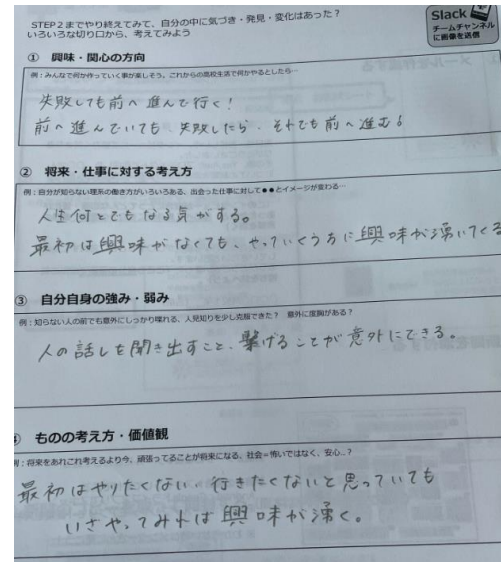
インタビューをまとめた「新聞」を発表。メンターのフィードバックや、メンバーの発表を通して、個々の気づきを深め、新たな視点を獲得する。通常のチームと異なる発表チームのため、あまり関わりがなかったメンバーとの交流も刺激に。

3) My Yes, And! の発表・行動計画作成

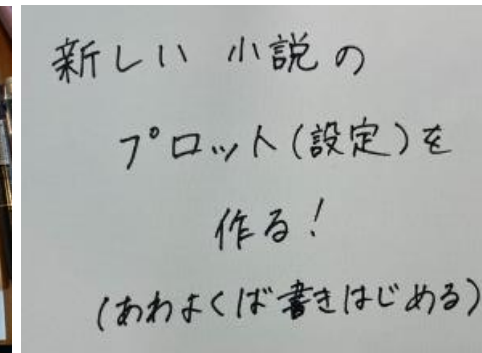
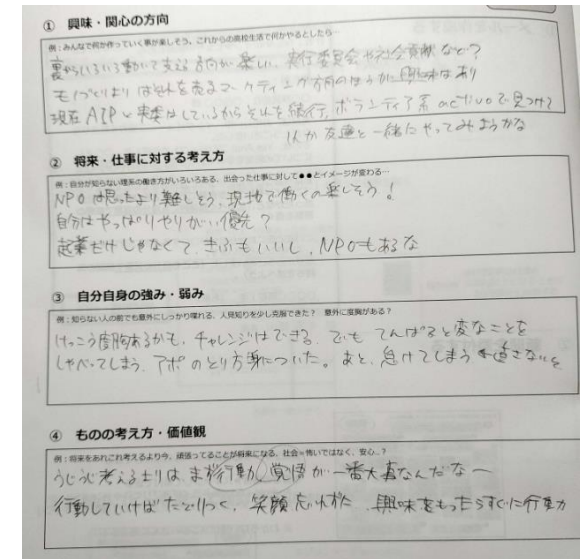


振り返りを通して「今までできなかったけれど挑戦したいこと」を決定。与えられた課題ではなく、自分で動く「はじめの一步」として自分なりのテーマに取り組む。計画的に実現できるよう、行動計画シートを使って具体的なアクションに落とし込む。

2) 振り返りワーク



STEP2までの活動を通して、自分についての気づきの変化・成長を客観的に洗い出す。



参加生徒の感想①

■ 社会人インタビューの感想

成長を実感

- ・自ら動く積極性が身についたかなと思います。
- ・アポ取りを含め行動力がつきました。初対面の大人と長時間話す機会は滅多になかったので、とても緊張しましたが、「憧れの人に会える」という強い思いは、他県まで1で行けるくらい自分を動かしてくれました。
- ・初めは自分に社会人の人とインタビューなんてすることができるのかと物怖じしていたけれど、実際にインタビューしてみて自分のトーク力でもこんなに話せるのかとびっくりしたと共に嬉しかったです。次インタビューをする機会がある時にはもっと上手く話したいとも思いました。
- ・達成感がすごかったです。あとはどんなに自分にとって難しく大変な事でも、いざやってみたら案外どうにかなるんだなって思いました。これから先、何かに挑戦する時はこの気づきを忘れずにまずはやってみたいと思いました。

社会人に感動

- ・インタビュー相手の、民俗学に対しての考えに共感し、今後の自分の民俗学に対しての接し方について、考えさせられた。
- ・社会人と関わって、自分が見ていた世界が狭いことを実感。
- ・働くことについての印象が変わった
→最初大変そうでしんどいイメージを抱いていたが、インタビューを通して好きなことを仕事にしている人がほとんどでもっと自分を充実させてくれるものだと感じた。

これからの自分に役立つ

- ・興味がある業界の方にお話を聞くことができたため本当に様々な知識を得られました。元々強かった仕事への興味が増しました。
- ・その人が何かを成し遂げるうえで何が必要だったのか、その必要だったものを得るために何が必要なのかを知ることで、これからの決断の参考になった。
- ・ネットで調べるのと本職の方にインタビューするのではその仕事への理解度や関心が全く違って、Yes,And! じゃないと絶対聞けないような貴重な体験ができてよかった。
- ・インタビュー前の質問の準備がとても大切だと感じた。また実際インタビューすると、想像よりも落ち着いてすることができました。
- ・憧れる社会人の方とゆっくりお話できて学ぶことが沢山あったし、自分にとってもとても良い経験でした！

とにかく、楽しかった！

- ・聞きたかったことをちゃんと聞いてよかった。初対面の人と話すのは緊張したけれど、いい機会になった。
- ・沢山断られることもあったのですが、インタビューを受けてくださった方々はとても優しく、会話が弾んで1時間以上話すこともあり、有意義でとても楽しかったです。

高校生に刺激

- ・みんな本当に聞きたい人に聞いたんだなとまず感じました。新聞にはすごい手が混んでいて、愛情を感じました！

参加生徒の感想②

■インタビュー発表の感想

熱量を感じた

・一言で言うと、**その職業に対する熱**を感じました。「興味を持っている職業の人にインタビューができた」点では全員共通だったので、**お互いに共感**できるところが多かったです。

・**自分の好きなことを探究している人が多かった**ので、聞いていて楽しかったです。

・各々が**自分の好きな分野の新聞を熱量を持って語って**いてとても聞いていて面白かった。

・それぞれが**自分の「好き」をテーマにした方たちとインタビュー**をしていて凄いなと思いました。中にはこの先も連絡を取り合うことの出来るような関係にまで至っている人もいて凄いなと思ったし面白かったです。

視野が広がった

・私がインタビューした時、学びや発見が沢山あったから、他の人のインタビューを聞いて**視野が広がった**と感じた。

・それぞれが強い興味を持ってインタビューをしていることが伝わってきてとても良いと感じました。**自分が知らない分野の情報を知るきっかけ**にもなりました。

・**新たな考え方が**生まれました。

・それぞれの良さがでて、聞いていて楽しかった。自分がその人にインタビューをしていなくても、その**新聞を見るだけでも勉強になった**。

・自分もその職業の方に会ってみたいと思った。みんながインタビューした方全員が、好きなことを仕事にしていると聞いて、自分のインタビュー先もそうだったが、やっぱり**仕事は自分がやりたいことに正直になることが、人生を良くする方法のひとつ**なのかなと思った。

他チームとの交流に刺激

・STEP2の活動をそれぞれ**称え合う環境**があつてとても良かった。各々が自分の好きな分野の新聞を熱量を持って語っていてとても聞いていて面白かった。

・みんなのインタビュー内容や新聞もすごくて、**負けてられない**と思った。

・他のチームの方と交流する時間があつて、**皆の新聞を見て、より改善点などが見つけた**と思います。MY Yesand!の発表内容を考えた時のJチームの雰囲気がとても良くてやりやすかったです。**発言しやすい雰囲気**があるっていうのはとても素敵な事だと思いました。

・**インタビュー先が様々で、聞いていて新鮮**だった。新聞もオリジナリティーがあつて見ていて面白かった。

・新聞に個性があつてそれぞれ色をつけたり枠をつけたりして**様々な工夫**があつてよかった。

・それぞれ、面白い人に聞きに行っていて、自分とは全く違う感じだったので、楽しかったです。そして、**一言に書いてあることが、確かに、これから私もそう考えていこう。と思える内容**でした！

※注 「一言」とは、新聞の最後にインタビューで得た気付き、自身の変化を書くスペースのこと。

参加生徒の感想③

■ My Yes,And ! (自分なりの挑戦) 決定の感想

- ・ 正味テンションあがった。
- ・ 本当にやれたらすごい自分になりたいなと思いました。
- ・ 最初は考えが全然まとまっておらず不安だったがメンターの方達と話していくうちに明確になってきてとても良いものが考えられたと思う。達成できるように頑張りたい。
- ・ 自分の今までやりたかったけど周りに言い出せなかったことを活動を通して決めてこれからの予定を立てることができてとても嬉しかったです。この先my yes andの活動を頑張っていきたいと思いました。
- ・ 行動計画をしっかり立てなければ…。
- ・ 現実的なのか、自分が楽しいと思える内容なのか、という観点からメンターさんの意見も参考にして導いたMy Yes,and ! なので、最後まで取り組もうという気持ちです。
- ・ 本当に弾けるようになるかな？練習頑張って続けてやらなくちゃ。皆の前で弾くってなったら緊張でやばそう。っていう感じです。でも弾けるようになったらカッコいいし1度決めた目標を達成出来た時の達成感を味わいたいのので頑張りたいと思います^^
- ・ 自分のやりたいことをできるのが楽しみ。
- ・ 決めれる場があるっていいなと思いました！今まで、やろうと思ってもなかなか行動できずにいたので、みんなの前で宣言した手前、今更引き返すことができないので、私にとってよいプレッシャーができる場があるっていうのは良い環境だと思います！
- ・ 具体的な目標を定められたことで、実現できる気がしたから頑張ろうと思った。
- ・ わくわくしています！
- ・ 新たな目標に向かってしっかり取り組みたいと思います。
- ・ 自分がこれから進めていくMyYes,And!を決められたことは2年生の間の明確な目標になりました。これからその挑戦を完了することが出来るかとても心配ですが、夢のためにも頑張っていこうと思います。
- ・ 自分の将来に結果的に役立つように取り組みたい。
- ・ やりたかったけど、やっぱいいやと思っていた事にやる機会をもらえて、ありがたかった。自分のやりたいことだから精一杯頑張りたいと思う。
- ・ 自分がやりたかったことなので、やらないと負担に思うこともなく、頑張ろうと思える。
- ・ 本当に自分で出来るか不安ですがとても楽しみです。
- ・ 社会人に近づける良い機会で、参加してとても良かったと思っている。